



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 小林製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡 TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日 配当支払開始予定日 平成30年9月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	72,678	8.0	11,602	12.0	11,533	12.6	7,629	8.4
29年12月期第2四半期	67,307		10,363		10,244		7,037	

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 7,753百万円 (4.4%) 29年12月期第2四半期 8,106百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	96.58	96.50
29年12月期第2四半期	89.44	89.31

(注) 当社は、平成28年6月29日開催の第98期定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成28年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成29年12月期第2四半期と比較対象となる平成28年12月期第2四半期の期間が異なるため、平成29年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	217,101	159,552	73.5	2,017.79
29年12月期	218,831	153,811	70.3	1,947.82

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 159,552百万円 29年12月期 153,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		28.00		30.00	58.00
30年12月期		31.00			
30年12月期(予想)				30.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年7月31日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	4.0	23,700	3.4	24,800	2.5	17,000	7.2	215.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規: 2社 (社名) 小林製菓(中国)有限公司、江蘇小林製菓有限公司(江蘇中丹製菓有限公司より商号変更)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	82,050,000 株	29年12月期	82,050,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	2,977,337 株	29年12月期	3,102,937 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	78,993,961 株	29年12月期2Q	78,680,730 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料 P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成30年8月3日(金)に開催予定の第2四半期決算説明会后、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、政府による景気対策の継続などにより企業収益や雇用の改善など回復基調が見られ、個人消費についても緩やかな回復基調が見られます。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や、既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は72,678百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は11,602百万円（前年同期比12.0%増）、経常利益は11,533百万円（前年同期比12.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,629百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりです。

国内家庭用品製造販売事業

当事業では、より効果感の高いEX処方黒ずんだひじ・ひざのザラザラ治療薬「クロキュアEX」や、毛穴が目立つポツポツ肌治療薬「ケアノキュア」、青あざに伴う内出血を改善する治療薬「アットノン アオキュア」、上品フェミニンな香りとデザインの内インテリアフレグランス「Sawaday PINKPINK STICK」、きらめくクリスタルボトルと最上級の香水調の香りの水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット Premium PERFUME」など10品の新製品を発売し、売上に貢献しました。

既存品のヘルスケアでは女性保健薬「命の母」、肥満症改善薬「ナイシトール」「ビスラットゴールド」やちくこのう症改善薬「チクナイン」などの漢方薬、歯間清掃具「糸ようじ」「やわらか歯間ブラシ」、口中清涼剤「ブレスケア」などが、日用品では額用冷却シート「熱さまシート」やおりもの専用シート「サラサーティ」、鼻呼吸を促すテープ「ナイトミン 鼻呼吸テープ」、ぬれフィルターでのどにうるおいを与えるマスク「のどぬるぬれマスク」、水洗トイレ用芳香洗浄剤「ブルーレット」などが好調に推移しました。

その結果、売上高は60,348百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益（経常利益）は11,159百万円（前年同期比12.7%増）となりました。営業利益は10,985百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では2,731百万円、当第2四半期連結累計期間では2,966百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
ヘルスケア	27,483	29,329	1,845	6.7
日用品	22,680	24,005	1,324	5.8
スキンケア	2,983	2,959	△24	△0.8
カイロ	768	1,088	319	41.7
合計	53,915	57,382	3,466	6.4

海外家庭用品製造販売事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

その結果、売上高は10,116百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益（経常利益）は81百万円（前年同四半期はセグメント損失（経常損失）19百万円）となりました。営業利益は154百万円（前年同期比171.1%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では450百万円、当第2四半期連結累計期間では470百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	2,331	2,443	112	4.8
中国	2,287	3,869	1,582	69.2
東南アジア	2,176	2,010	△166	△7.7
その他	1,114	1,322	208	18.7
合計	7,909	9,646	1,736	22.0

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は5,109百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益（経常利益）は80百万円（前年同四半期はセグメント損失（経常損失）67百万円）となりました。営業利益は76百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,197百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益（経常利益）は650百万円（前年同期比15.1%減）となりました。営業利益は267百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では2,432百万円、当第2四半期連結累計期間では2,655百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,729百万円減少し、217,101百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（7,316百万円）、商品及び製品の増加（2,914百万円）、仕掛品の増加（455百万円）、機械装置及び運搬具の増加（404百万円）、のれんの増加（705百万円）、投資有価証券の増加（960百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,470百万円減少し、57,549百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少（1,093百万円）、未払金の減少（5,003百万円）、未払法人税等の減少（626百万円）、返品調整引当金の減少（623百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,740百万円増加し、159,552百万円となり、自己資本比率は73.5%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（5,157百万円）、自己株式の減少（496百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（655百万円）、為替換算調整勘定の減少（664百万円）等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは6,418百万円（前年同四半期は9,191百万円）となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益10,727百万円、減価償却費1,394百万円、売上債権の減少額7,201百万円であり、主な減少は、たな卸資産の増加額3,637百万円、仕入債務の減少額492百万円、未払金の減少額5,019百万円、法人税等の支払額4,037百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは△7,618百万円（前年同四半期は4,813百万円）となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出32,992百万円、定期預金の払戻による収入29,344百万円、有形固定資産の取得による支出1,884百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,834百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは△2,035百万円（前年同四半期は△7,025百万円）となりました。主な内訳は、配当金の支払額2,368百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より3,633百万円減少し、45,054百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月2日付け公表の「平成29年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,990	64,997
受取手形及び売掛金	50,032	42,715
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	9,789	12,704
仕掛品	693	1,148
原材料及び貯蔵品	2,807	3,099
繰延税金資産	3,221	3,263
その他	2,547	2,342
貸倒引当金	△34	△28
流動資産合計	142,346	138,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,212	8,068
機械装置及び運搬具(純額)	3,985	4,389
工具、器具及び備品(純額)	1,337	1,393
土地	3,576	3,575
リース資産(純額)	573	543
建設仮勘定	562	719
有形固定資産合計	18,247	18,689
無形固定資産		
のれん	2,626	3,332
商標権	410	442
ソフトウェア	906	865
その他	855	839
無形固定資産合計	4,798	5,479
投資その他の資産		
投資有価証券	46,797	47,757
長期貸付金	261	306
繰延税金資産	539	533
投資不動産(純額)	2,981	2,970
その他	3,243	3,238
貸倒引当金	△384	△418
投資その他の資産合計	53,438	54,388
固定資産合計	76,484	78,557
資産合計	218,831	217,101

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,279	8,716
電子記録債務	9,221	8,128
短期借入金	194	274
未払金	24,446	19,443
リース債務	55	54
未払法人税等	4,654	4,027
未払消費税等	1,245	629
返品調整引当金	1,793	1,170
賞与引当金	2,250	2,191
資産除去債務	38	38
その他	2,095	2,115
流動負債合計	54,274	46,789
固定負債		
リース債務	527	499
繰延税金負債	5,224	5,335
退職給付に係る負債	2,805	2,759
役員退職慰労引当金	37	37
資産除去債務	81	81
その他	2,068	2,046
固定負債合計	10,744	10,760
負債合計	65,019	57,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	146,758	151,915
自己株式	△12,259	△11,763
株主資本合計	142,132	147,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,267	13,922
繰延ヘッジ損益	9	2
為替換算調整勘定	403	△260
退職給付に係る調整累計額	△2,038	△1,898
その他の包括利益累計額合計	11,642	11,766
新株予約権	36	—
純資産合計	153,811	159,552
負債純資産合計	218,831	217,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	67,307	72,678
売上原価	24,736	26,337
売上総利益	42,571	46,341
販売費及び一般管理費	32,208	34,738
営業利益	10,363	11,602
営業外収益		
受取利息	124	119
受取配当金	192	215
不動産賃貸料	148	146
その他	161	145
営業外収益合計	626	627
営業外費用		
支払利息	9	3
売上割引	298	302
不動産賃貸原価	42	35
為替差損	178	174
その他	216	180
営業外費用合計	745	696
経常利益	10,244	11,533
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5
その他	0	0
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	50	55
減損損失	331	755
その他	97	1
特別損失合計	478	812
税金等調整前四半期純利益	9,765	10,727
法人税、住民税及び事業税	3,781	3,392
法人税等調整額	△1,052	△294
法人税等合計	2,728	3,097
四半期純利益	7,037	7,629
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,037	7,629

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	7,037	7,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,641	655
繰延ヘッジ損益	△24	△6
為替換算調整勘定	△689	△664
退職給付に係る調整額	141	140
その他の包括利益合計	1,069	124
四半期包括利益	8,106	7,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,106	7,753
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,765	10,727
減価償却費	1,420	1,394
減損損失	331	755
のれん償却額	303	217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40	45
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△53	△45
受取利息及び受取配当金	△317	△334
支払利息	9	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	50	55
売上債権の増減額 (△は増加)	6,887	7,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,484	△3,637
仕入債務の増減額 (△は減少)	590	△492
未払金の増減額 (△は減少)	△2,558	△5,019
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△471	△619
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	18	—
その他	△411	△144
小計	12,120	10,108
利息及び配当金の受取額	310	349
利息の支払額	△7	△1
法人税等の支払額	△3,232	△4,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,191	6,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,676	△32,992
定期預金の払戻による収入	39,349	29,344
有形固定資産の取得による支出	△1,528	△1,884
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△173	△157
投資有価証券の取得による支出	△1,048	△11
投資有価証券の売却による収入	5	2
投資その他の資産の取得による支出	△72	△75
投資その他の資産の売却による収入	43	33
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△0	0
長期貸付けによる支出	△37	△44
長期貸付金の回収による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,834
その他	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,813	△7,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	△1
自己株式の取得による支出	△5,068	—
自己株式の処分による収入	205	361
配当金の支払額	△2,134	△2,368
リース債務の返済による支出	△29	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,025	△2,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	△231	△398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,746	△3,633
現金及び現金同等物の期首残高	28,322	48,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,069	45,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、小林製薬(中国)有限公司を新たに設立し、江蘇小林製薬有限公司の全持分を取得したため、同2社を連結の範囲に含めております。

なお、小林製薬(中国)有限公司、及び江蘇小林製薬有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,915	7,909	4,943	66,768	539	67,307	—	67,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,731	450	—	3,182	2,432	5,615	△5,615	—
計	56,647	8,360	4,943	69,950	2,972	72,922	△5,615	67,307
セグメント利益	9,900	△19	△67	9,814	766	10,580	△336	10,244

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△336百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となった該当事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、331百万円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて、減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間においては、227百万円であります。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 家庭用 品製造 販売事 業	海外 家庭用 品製造 販売事 業	通信 販売事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,382	9,646	5,109	72,137	541	72,678	—	72,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,966	470	—	3,436	2,655	6,092	△6,092	—
計	60,348	10,116	5,109	75,574	3,197	78,771	△6,092	72,678
セグメント利益	11,159	81	80	11,321	650	11,971	△438	11,533

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△438百万円は、セグメント間取引消去及び各事業セグメントに配分していない収益及び費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となったのれんについて減損損失を計上しております。

当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、753百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、「海外家庭用品製造販売事業」セグメントにおいて、のれんを減損しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間においては、753百万円であります。

また、同セグメントにおいて、小林製薬(中国)有限公司が江蘇小林製薬有限公司の全持分を取得したことに伴い、のれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、1,751百万円であります。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。